

## 2011 北東アジア地域環境体験プログラムの開催結果

経済界・学界・自治体が連携して、青少年に北東アジア地域における環境の現状を直に体験する機会を提供することにより、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら考えて行動できる人材を育成することを目的として、富山県及びロシアハバロフスク地方の主催により「北東アジア地域環境体験プログラム」が開催されました。

### 1 開催期日

2011年8月27日（土）～28日（日）

### 2 開催場所

ロシアハバロフスク地方

### 3 主催者

ロシアハバロフスク地方環境保全委員会、森林管理局  
日本国富山県生活環境文化部

### 4 参加者

学生（中学生・高校生）65名（4か国7自治体）

- ・中国：12名（遼寧省6名、黒龍江省6名）
- ・日本：6名（富山県6名）
- ・韓国：11名（江原道4名、忠清南道7名）
- ・ロシア：36名（沿海地方9名、ハバロフスク地方27名）

※ 日本からは、富山県立伏木高校、高岡龍谷高校が参加

### 5 テーマ

「一緒に森を守りましょう」

### 6 プログラム

#### (1) 開会式（場所：校外教育活動センター メインホール）

挨拶

ハバロフスク地方環境保全委員会	ヴィクトル・バルデュク	委員長
ハバロフスク地方森林管理局	ウラディーミル・ボルトウルシコ	局長
富山県生活環境文化部	堀 武司	次長

#### (2) 基調講演

「ハバロフスク地方における住民への環境教育・啓発」

ゴルベワ・エレナ（ハバロフスク地方環境保全委員会環境監査・規制課 副課長）

「ボロニスキー自然保護区域の「キルプ」森林保護監視所周辺の

二次林の地理植物学的な研究」（アムルスク市、ハバロフスク市総合学校）

- (3) 活動発表（6団体）（場所：校外教育センターメインホール）
- ・ホクリクサンショウウオ南限個体群の生態解明と復活・保護（富山県）
  - ・黄砂発生状況に関する視程調査活動（忠清南道）
  - ・生態系に関心を持ち、森林を保護する（遼寧省）
  - ・原州地域におけるグリーン分野での持続可能な活動と環境キャンペーン（江原道）
  - ・エレナ島における「アラリヤ」エコ部隊の森林保全活動（沿海地方）
  - ・環境調査 ― 割り箸（黒龍江省）
- (4) 森林保護に関する環境体験活動1（場所：校外教育センター敷地内）
- ・参加者による植樹活動（記念並木道づくり）
- (5) ハバロフスク市内の視察
- ・ハバロフスク地方の代表的な自然環境であるアムール川を視察
- (6) 森林保護に関する環境体験活動2（場所：校外教育センター敷地内）
- ・害虫対策や害虫の種類について標本等による講義
  - ・森林火災対策の講義
  - ・ロシア極東地域、日本、中国、韓国に生育する樹木種の紹介
  - ・苗木用の種植えの実習
- (7) 閉会式（場所：校外教育センターメインホール）
- ・環境宣言文の発表（ハバロフスク地方の生徒から発表）

環境宣言文 2011  
～一緒に森を守りましょう～

北東アジア地域環境体験プログラム「一緒に森を守りましょう」に参加した私たち4カ国の青少年は、環境保全のための意見交換や情報共有、環境体験活動を通じて、環境保全の重要性を実感した。そして、環境問題を解決するためには、環境保全活動を実践することが必要であると理解した。

私たちは、天然資源保全の重要性、個人レベルを始め、国レベルでの自然保護事業の必要性、環境問題の解決のため国の環境関係機関や民間団体、子どもから大人まで、数多くの活動主体が連携・協力することの重要性を深く認識した。

本日、「北東アジア地域環境体験プログラム」に参加した私たちは、北東アジア地域の健全な環境を保全するため、自然を大切にし、自ら環境保全活動に積極的に参加するとともに、北東アジア地域の市民の皆さんに参加を呼びかけることを宣言する。

ハバロフスク市  
2011年8月28日

北東アジア地域環境体験プログラム参加者一同

# 2011 北東アジア地域環境体験プログラムの開催状況

## ○開会式



## ○基調講演



## ○活動発表



○記念並木道づくり（植樹活動）



○樹木種の紹介



○植ええ実習



○害虫対策の講義



○環境宣言文 2011 の発表

